

fun pun clock®

Designed by Yoko Dobashi / Lemnos Inc. Made in Japan



<大きな3つの特徴をもった時計>

1. 子どものいる風景に「笑顔」を増やす時計

子どもが、どんなかたちであれ時計に積極的に関わりたがるタイミングがきたら、次のステップとして一緒に時計と関わろうとする大人の存在が重要になります。教育の現場だけでなく、日々の大半を過ごすご家庭で大人が意識して、行動と時間を結びつけてあげる事で子どもは「どれくらいの時間で、自分はどんなことができるのか」を体で覚えるようになります。

お子さんが時計に興味をお持ちになった際は、是非一緒に「音読」してあげてください。親子で、声をひそめて秒針の「コチコチ」という音を聞いたり、一緒に60まで数えたり、毎日お風呂やベッドに入る際に時刻を確かめたり、手で確認しながら「5分・10分」と声にだしたり。かけがえのない親子のコミュニケーションの柔らかな時間は、その最中には大変で気がつきませんが、人生のほんの一瞬しかない貴重なものです。

2. 入り口のアナログ時計

「自分のことを自分でやりたい!」と願うお子さんが、時間の概念も身につけてくれたら、パパもママも助かりますよね。たとえば、「前よりも出かける準備を早くできるようになった」という“小さな実感”の積み重ねはお子さんの自信に繋がります。タイミングを見て、時間と行動をセットにして成長を褒めてあげてください。子どもも自分で計画をたてられることで自信をつけ、より大きな満足感を得られる経験の繰り返しで自信を深めます。また、アナログ時計は円グラフに通じる、感覚的に行動計画と一致させる事が出来るということから、デジタル主流の昨今でも見直されています。

3. 母親の視点と、モンテッソーリ教育理論を土台としたデザイン

意外に思われるかもしれませんが、数への興味は実は幼児の頃から芽生えています。その「数への興味」の一環で、時計に興味を持つ事も多いのです。その時期の幼児が、1~12の数字だけで、時計と分針が示す時刻を理解するのは難しく、補助的に分針が示す時刻を5分、10分・・・と母親が市販の時計に付け足す必要がありました。「fun pun clock」には、モンテッソーリ教育の視点からヒントを得て「時間や時刻の理解を促す」為の仕掛けをちりばめています。

「子どもは大人が思っている以上に知的好奇心が旺盛です。『これは何?』『どうして?』と熱心に質問を繰り返す姿は、自分の力でこの世界について知ろうと学ぶ、自己教育力(自分を育てる力)のあらわれといえます。少し工夫して、子どもが自分で分かるような環境を整えてあげれば、子どもは自ら環境に関わり、知性を生き生きと働かせ主体的に行動するようになります。大人の役割は知識を教え込むことではなく、子どもが自分で学んだり、考えたりすることのできる環境を整えることにあります。」

公益財団法人 才能開発教育研究財団 日本モンテッソーリ教育総合研究所
主任研究員 櫻井美砂

Step. 01

時計の読めない子が 読みたいと思う アナログ時計



fun pun clock

2017年グッドデザイン賞受賞 (YD14-08)



YD14-08L
4515030075028



YD14-08M
4515030075035



YD14-08S
4515030075394

fun pun clock for table



YD18-04
4515030076056

<デザインの有意性>

1. ステップムーブメントの採用

1秒が「どれくらいの間隔なのか」を、音で感覚的に理解できる仕掛け。また、60進法の理解への足がかりとして数えやすいように、コチコチと時を刻むムーブメントを採用しました。昨今は切れ間なく回転する秒針を採用したインテリアクロックや、デジタル時計・携帯電話で時刻を確認する大人が増えたため、子どもが1秒を知る機会を失いつつあります。眠れない夜に聞こえてきた時計の「コチコチ」と刻む音の感覚を知っていることは、時間内に用事を済ませたり、準備を整えたりする為の基礎となるでしょう。

2. 色の効果

子ども用のアイテムであるからこそ、シンプルで素材の質感がそのまま美しい事が重要です。プライウッドの木の質感と、シンプルなモノトーンの文字盤を採用し、時計を理解する為に重要なポイントには「艶のある赤」を効果的に取り入れています。他に装飾的な色を用いない事で、子どもが直感的に「時間の理解」や「時刻の認識」にのみ集中できるようにしています。また、大人がお子さんにお声がけしやすいようになっています。

例:

＊まずはお子さんが「動いている」と唯一目で認識できる秒針を、「1~60」まで一緒に数えてあげてください。「動いている赤い細い針を60数えてみようか?」
＊次に、分針を中心に秒針や時針を関連づけるような声かけをしてあげてください。「針先の赤いところが、今『なんぶんか』わかるころよ。35分ね、7をまたがっているでしょ。60数えたときに、「7」は「35」だったわね。」etc.

3. 数の表示や、数同士の間隔の取り方に「子どもの視点」を取り入れている

実は時計の一番上にくるのが「12」だという事は、数の敏感期にある幼児にとっては「とても意外なこと」です。「0」の概念がある子は、「12」の位置に「0」を。「0」の概念のない子は、「12」の位置に「1」を配置したがる傾向にあります。そこで、「12」の文字を若干強調する工夫がされています。また、10.11.12の2桁の数字の表記も、隣同士の数が混同されないように配慮されています。

YD14-08 L φ354×d48mm 970g プライウッド、ガラス ステップセコンド 13,200円(税抜価格12,000円)

YD14-08 M φ305×d48mm 725g プライウッド、ガラス ステップセコンド 8,800円(税抜価格8,000円)

YD14-08 S φ254×d48mm 580g プライウッド、ガラス ステップセコンド 7,700円(税抜価格7,000円)

YD18-04 w150×h161×d62mm 300g ABS樹脂、ガラス ステップセコンド スタンド付属 4,400円 (税抜価格4,000円)



2017年グッドデザイン賞を受賞しました!

ふんぷんくろっく

ちょっぴりユーモラスな名前の由来は、“時”を表わす「1~12」の文字が、60進法の“分”の読み方となった際に、
「5ぶん(fun)」「10ぶん(pun)」「15ぶん(fun)」「20ぶん(pun)」〜と
交互に繰り返されることから名付けました。
大人が子どもに声がけしやすい、シンプルで素材の美しい、どのようなインテリアにも合う時計ができました。



置き時計タイプ「~ for table」の特徴

1. 手元で時間を確認できる

お子さんと一緒に秒針を数えたり、分針の12進法と60進法の関連を指で確認したりと、手元で行いやすい大きさと軽さの「fun pun clock for table」。壁かけと同じデザインの文字盤を見比べることで、より時刻や時間の理解が深まります。

15分は1時間に4つある。ちょっとした作業のできる「15分」を1コマとしてスケジュールをおおらかに段取り、手元で確認しやすい大きさと軽さの「fun pun clock with color! for table」。お子さんのデスクに置くことで視界に入り、「〇〇時まであとどれくらい」と意識しながら取り組めるという特徴があります。

また、ご高齢の方はダイニングテーブル等の定位置に座り、手の届く範囲に時計を置いておきたいという声もあり、お孫さんと過ごすひとときにもおすすめです。

2. 小さな時計として壁にもかけられる

足元の付属パーツを取り外していただければ、掛時計として壁にかけられます。奥行きにボリューム感があるので、ちょっとしたお部屋のアクセントにもなります。



<大きな3つの特徴をもった時計>

1. 時間を自分らしく使いたい人をサポートするアナログ時計

「約束の時間に終わらせるために、何時までにどこまでやるか」「今日1日をどう過ごすか」「複数のやるべきこと、やりたいことをどう組み立てるか」を考えることは、種類の違いこそあれ、子どもから大人まで共通の時間の使い方に対する悩みです。「1時間でどこまでやるか」と考えると、ぼんやりとして甘くなりがちな目標設定も、「15分×4コマ」と考えると、できることが明確になります。「15分」は、どんなに忙しい人でも何とか確保できる時間。意識しないとあっという間に過ぎてしまいますが、実は様々なことができます。例えば、次の約束までの15分を積極的にリラックスタイムにすることが、もうひと頑張りするための有効な手段になります。

また、遅刻癖のある人は、あらかじめ1コマ分の余裕をもつことで、5分か10分前には到着できる習慣づけになるでしょう。アナログ時計のもつ「円グラフ」の特徴を活かし、1時間をおおらかに4分割して捉えることで、時間に追われる生活から抜け出してみませんか？

2. インテリア空間に映える、シックなカラーリングの時計

通常の商品開発で用いられるカラーチップではなく、インテリアペイントのメーカー・株式会社カラーワークス協力のもと、12種類の顔料をブレンドして作った同社の繊細な色合い1488色の中から選びぬいた4つの配色。シックなインテリアにもカジュアルで遊び心のあるインテリアにも馴染みます。インテリアコーディネーターの資格をもち、様々な現場で自らペイントを施した経験のあるデザイナーの視点から見た、生活空間における「壁を飾るインテリアアイテムとしての時計」にふさわしい美しい色合いや質感を慎重に選びました。

3. 母親の視点と、モンテッソーリ教育理論を土台としたデザインの時計

自分の部屋を初めて与えられる思春期の頃は特に、「やらないといけない」と思っていることを、人から『やりなさい』と言われることが何よりも苦痛です。それでも思うように時間の区切りをつける事ができず、時間に迫られて焦る気持ちから、次第に時計を読む事が億劫に感じられる負のスパイラルがあります。そんな時期に、お気に入りの色で好きな部屋を作るきっかけになるような時計が、実は時間を区切る段取りが上手になるサポートにもなっていたら助かりますよね。そんな思いを込めて、子育て経験のある女性デザイナーの「母親の視点」と、日本モンテッソーリ教育総合研究所の主任研究員・櫻井美砂様の「専門家の意見」を取り入れて商品開発を進めました。

「8時になったら、学校へ行く」「15分で支度を終える」「30分、練習する」など、生活の中で時刻や時間を意識することは、自分の行動を自分自身でコントロールする姿勢を育みます。とはいえ、時は流れるもの。「〇時〇分」という、その瞬間を示す時刻は読めるようになっても、生活体験の少ない子どもにとって、目に見えない時間という量を把握することはなかなか難しいものです。「もう15分しかないから急いでください！」「30分で宿題を終えなさい！」というかわりに、「15分、この一分で支度を終わるようにしようね」「今日は、時計の半分、30分練習しよう」など、色によって可視化された時間を基準に量感を育み、時間の概念の理解へとつなげながら、少しずつ子ども自身でスケジュールを管理できるように導いてあげることが大切です。

アナログ時計は、分数の理解にもつながります。「1/4時間は何分？」という問題も、時計を思い浮かべれば計算するまでもなく「15分！」とイメージすることができますね。さらに、「15分は90度」など、角度の理解に発展することもできます。生活に密着した学びは、生きた知識として子どもの身につけていきます。

公益財団法人 才能開発教育研究財団 日本モンテッソーリ教育総合研究所
主任研究員 櫻井美砂

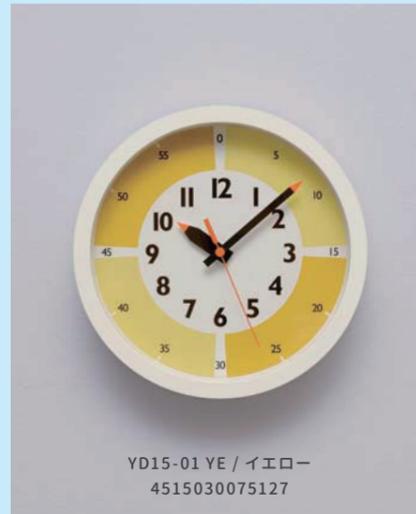
fun pun clock with color!



YD15-01 RE / レッド
4515030075103



YD15-01 LBL / ライトブルー
4515030075110



YD15-01 YE / イエロー
4515030075127



YD15-01 GN / グリーン
4515030075134

YD15-01 φ248×d44mm 660g ABS樹脂、ガラス スイープセコンド 5,500円(税抜価格5,000円)

Step. 02

色の効果で、自分の時間を作るのが うまくなるアナログ時計

NEW

fun pun clock with color! for table



YD18-05 RE / レッド
4515030076063



YD18-05 LBL / ライトブルー
4515030076070



YD18-05 YE / イエロー
4515030076094



YD18-05 GN / グリーン
4515030076087



<デザインの有意性>

1. スイープメントと分数概念の採用

自分の部屋がある年代は「時計が60進法であること」は理解しているとした上で、モンテッソーリ的な観点から不要な要素は取払いました。そのひとつが秒針で1秒をきざむステップメントではなく、流れる時を視覚的に表わすスイープメントを採用しました。

また、1コマ=15分のなかにも、「ふんぶんくろくく」のアイデンティティーでもある「5ぶん (fun)」「10ぶん (pun)」の刻みを入れる事で、おおらかな時間の把握をサポートします。

2. お気に入りの色の効果

子ども部屋や自分の部屋で使う事をイメージして、より自分の「お気に入り」になる色味に配慮しました。重量感のあるための枠をフレームのように見立てたカラーの時計は、「機能のあるグラフィック」としてインテリアの方向性を導いてくれます。また、一つ一つの色に名前がついている事も、お気に入りのみつつけるきっかけになります。

赤：Crimson Barberry (7885A)
青：Dutch Aqua (8044M)
黄：Cortez Gold (7725A) × Cool Yellow (7703M)
緑：Ozark Green(8155D) × Olive Branch (8163W)
* 株式会社カラーワークス
オリジナルペイントブランド「Hip」より

3. 数の間隔は、「子どもの視点」、 余白の取り方は「色彩心理の視点」

「10」「11」「12」の2桁の数字の表記は、子どもが見ても隣の数字同士混同しないように配慮しています。また、1コマ=15分の区切りとなる「0分」「15分」「30分」「45分」に白を残す事で、気持ちを一度切り替える、白(地の色)になる心の余裕を促しています。

YD18-05
w150×h161×d62mm 300g
ABS樹脂、ガラス
スイープセコンド スタンド付属
4,400円(税抜価格4,000円)





土橋 陽子
Yoko Dobashi

「自分らしい暮らしを楽しみたい生活者と、ライフスタイルを提案する企業・メーカーとの通訳」として、インテリアに特化した執筆、デザインを含むコンサルティングに取り組む。

株式会社イデーに5年間（1997～2002）所属し、定番家具の開発や「東京デザイナーズブロック2001」の実行委員長、ロンドン・ミラノ・NYで発表されたブランド「SPUTNIK」の立ち上げに関わる。

2012年より「Design life with kids Interior workshop」主宰。モンテッソーリ教育の視点を生かし、手を動かしながら、インテリアを作り上げることを心がけ、様々な企業とコラボレーションしている。fun pun clockが、グッドデザイン2017受賞。Precious.jpにて、「身長156センチのインテリア」連載中。レムノスでは、fun pun clockのほかにも、出来合いのブーケが投げ入れるだけで丸く生けられる【bulb & bouquet】をデザイン提供している。

<http://yokodobashi.com/>

instagram 公式ハッシュタグ

#funpunclock #funpunclockwithcolor! #ふんぷんクロック #ふんぷんくろっく #フンブンクロック

Special thanks!

開発協力：日本モンテッソーリ教育総合研究所 主任研究員 櫻井美砂

株式会社カラーワークス <http://colorworks.co.jp/>

写真撮影：福岡幸治 <http://kojifukuzaki.tumblr.com>

ロゴデザイン：濱中幸子（デザイン事務所 Vol.） <http://vol-web.com/>

文章校正：中嶋由希子



株式会社タカタレムノス

東京ショールーム・オフィス / 〒112-0012 東京都文京区大塚 3-7-14 シャノワール文京 1F TEL : 03-5981-8120 FAX : 03-5981-8365

本社 / 〒933-0957 富山県高岡市早川 511 TEL : 0766-24-5731 FAX : 0766-22-8071

www.lemnos.jp info@lemnos.jp

※本体写真と実際の商品との色は印刷の関係上、若干異なる場合がありますので、予めご了承下さい。 ※無断転写・無断複写を禁じます。 Printed in Japan ©2018 TAKATA Lemnos Inc. All rights reserved.